



町内対抗リレーでは熱戦が
続き、応援する人たちも熱
い声援を送っていました

地域のスポーツ再発見企画

躍動、そして感動。第54回 町民体育祭

54th Sports Festival

最大級のスポーツの祭典開幕



Exciting
伝統の一戦
地域の威信をかけた
町内対抗リレー

年に一度の競演 伝統の町民体育祭

町民総参加のスポーツの祭典

秋雨けむる10月7日早朝、町民体育祭を告げる信号花火が町内に響きわたりました。

雨のため中止だと思った人たちは数多くいたようですが、会場のスポーツ・レクリエーション広場には、選手や応援、見物する皆さんを含め約5,000人が足を運びました。次第に雨から晴れ模様となり、体育祭も無事に開催できました。

町内対抗競技で激戦を勝ち抜き見事優勝を果たしたのは、店高原チーム（1組）と本郷江原チーム（2組）。チーム一丸となって競技に臨んだことが、勝利へと結びつきました。今年で54回目を数える町民体育祭は、邑楽村が誕生した年と同じ年の昭和32年10月13日に、中野小学校で「邑楽村第一回村民総合体育祭」として開催されました。その後、永い歴史を積み重ねてきたのです。

←選手長の松本涼菜さん 新中野・33区



各小学校の選手が燃えた新種目

小学校対抗リレー激闘のレース展開のすえに…

町内対抗採点競技として、今回新しく導入された「小学校対抗リレー」。各小学校から選ばれた選手たちが力走を見せました。この体育祭を通して会場内が、もっとも沸いた競技の一つと言っても過言ではありませんでした。レースは6学年中、1・2・4・5学年の1位を長柄小学校が獲得し、優勝のうちに幕を閉じました。



↑選手は夢中で走り、そしてバトンをつなぎました。ゴールを目指して…



全行政区の人たちの注目を浴びるなかでのスタートは、緊張の瞬間です



Exciting
熱戦のレース
各小学校から選ばれたランナーたちの激走！



追いつき追い越されの熱戦が繰り広げられました

町内対抗カクテルリレー 競技は5人組による百足競争やハードル跳び、綱くぐり、二人三脚と今回幅広く行われました



新種目誕生と競技内容の変更
そして、スペシャルゲスト登場
今年の町民体育祭では、新種目として町内対抗採点競技で小学校対抗リレー、オープン競技で町内対抗のグラウンド・ゴルフリレー、リム転がしリレーを追加。男女200歳以上リレーは廃止され、障害物リレーも町内対抗カクテルリレーと組み合わせ、競技内容の充実を図りました。体育祭の中盤には、ロンドンオリピック、レスリング男子グレコローマン60kg級銅メダリストの松本隆太郎選手（千代田町）がスペシャルゲストとして登場。会場内は、ひととき盛り上がりしました。



Special
メダリスト
Guest



New
町内対抗
採点競技



New
オープン
競技



町内対抗リム転がしリレー ふだんなじみの薄いリム転がし。悪戦苦闘しながら、一生懸命ゴールを目指す子どもたちの姿がありました



New
オープン
競技

町内対抗グラウンド・ゴルフリレー お年寄りの皆さんによる、グラウンド・ゴルフリレーが行われました



子どもからお年寄りまで楽しいと思える町民体育祭を

毎年問題となっているのが選手集めです。この問題を改善するため町民体育祭のプログラム変更を今回決定しました。種目会議を重ね、紆余曲折はあったものの小学校対抗リレーやグラウンド・ゴルフリレー、リム転がしリレーなどの競技種目を新たに追加。子どもからお年寄りまで参加できることを主眼に置きました。

選手集めを各小学校・町体育協会・クラブ・ゴルフ部にお願ひし、各行政区の理事・支部長の選手集めの負担軽減も図りました。競技中、新種目のリム転がしリレーで、不慣れな子どもたちが最後まであきらめずにゴールを目指す姿を見て、主催者側として感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからは試行錯誤を繰り返して、何より町民の皆さんの協力を得ながら、幅広い年齢層の人たちが参加できる町民体育祭を目指してまいります。選手はもとより足を運ぶ人が増えて親しみやすい体育祭となれば、地域が活性化して絆も深められると考えます。



邑楽町体育協会
会長 小林 滋由さん
Shigeyoshi Kobayashi



地域のみんなと一緒に応援

地域の絆がより深まる時間を刻む…

選手の活躍と熱の入った応援。すべてが地域の絆へとつながります。

各地区から選手が出場し、全町あげて開催するのは町民体育祭だけです。とかく近所付き合いが少ないといわれる時代。各地区の体育協会役員の皆さんは、選手集めに奔走し、大変苦勞しています。主催者側では、そのひとつの方策として今回、子どもからお年寄りまで参加しやすいように、プログラムに新種目の追加や競技の変更など工夫を図りました。幅広い年齢層が出場できる町民体育祭は、地域の人たちの絆がより深まる時間を刻むことのできる、今や昔ながらの貴重なイベントです。この伝統あるスポーツの祭典は来年、第55回目となる節目の年を迎え、これからもその歴史を刻み続けていくのです。



歴史を刻んできた優勝旗



←選手たちを温かい拍手で迎える

Ranking 町内対抗採点競技の成績表

同点の場合は町内対抗リレーの合計得点で順位を決定

順位	行政区名	得点	順位	行政区名	得点
1	店高原 (28区)	40	1	本郷江原 (29区)	45
2	新中野 (33区)	39	2	古家十軒 (30区)	44
3	寺中 (26区)	37	3	十三軒 (27区)	39
4	水立大黒 (23区)	33	4	馬場大林 (25区)	39
5	西ノ根宮内中島 (24区)	33	5	開拓 (32区)	38
6	坪谷 (22区)	32	6	鶴新田 (14区)	36



店高原チーム

小学校対抗リレーで圧倒的な強さを誇り、町内対抗採点競技でも上位入賞の店高原チーム。その結束力と活気が勝利へと結びつきました。平成10年の第40回大会以来、実に14年振りの優勝です。

Victory
店高原・28区
1組優勝

チームの結束力が最高の結果につながった

Interview

佐藤 真吾さん Shingo Sato

「地区の体育協会役員として選手集めに苦勞したときもありましたが、何よりチームが優勝できてうれしいです。今年は地区の慰労会で、例年以上に盛り上がることに間違いなしです」



本郷江原チーム

上位入賞の常連チーム本郷江原。町内対抗カクテルリレー1位、町内対抗リレー女子1位を獲得し、勝利をその手中に収めました。平成22年の第52回大会以来、今回2年振りの優勝となりました。

Victory
本郷江原・29区
2組優勝

常勝チームが底力を発揮し優勝を見事獲得

Interview

平野 由さん Sora Hirano

「町内対抗カクテルリレーのアンカーとして二人三脚競技に出場しました。1位でゴールすることができたので、良かったです。チームの優勝に貢献できたことが、やっぱりうれしいです」



↑子どもから大人まで、楽しく「みんなで綱引き」



幼稚園対抗大玉ころがしリレーでは親子一緒に楽しみました



日ごろの結束力を見せるレース「スポーツ少年団対抗リレー」



楽しさあふれる競技が盛りだくさん
町内対抗採点競技のほかにも子どもからお年寄りまで、幅広い年代で楽しめる競技があります。



↑スポーツクラブ対抗百足競争ではハプニングも



↓お年寄りの皆さんが一生懸命玉入れをしました



↑婦人消防隊による応急手当競争は時間との勝負



仮装したチームが8人百足競争を盛り上げました



Special Thanks

華々しい舞台裏でキラリと光る大きなチカラ

↓コースの整備作業にあたってくれた会場スタッフの皆さん

青少推の皆さんは、毎年会場内のごみ拾いをしてくれています。地区役員の皆さんをはじめ、こうした多くの人たちのおかげで、町民体育祭は無事幕を閉じたのでした。

会場内では、雨の影響を受けたグラウンドを整備するスタッフの皆さん。おかげで無事にトラックレースができるようになりました。

開会時には雨模様だった今年の体育祭。邑楽中学校の吹奏楽部の皆さんは、ずぶ濡れになりながらも、楽器を急きょテント内に移し、演奏してくれました。

→雨で急きょテントから演奏してくれた邑楽中学校吹奏楽部

←青少年健全育成推進委員連絡協議会（青少推）の皆さんは、毎年会場内のごみ拾いをしています